

HOT NEWS

地域ネット

狛江ネット

子どもの居場所「夏休みだ〜みんなおいで」
8月23日(火) 10:00〜16:00 西河原公民館調理実習室・茶室(小田急線狛江駅17分)
簡単ご飯作りと、子どもの居場所、学習支援
参加費:食事代100円 主催:運動グループ狛江地域協議会 TEL03-3430-1302

練馬ネット

市民の社会科見学「池袋防災館に行こう!」
8月25日(木) 9:30〜11:10 (予定)
池袋防災館4階受付前9:20集合(時間厳守)
(池袋駅西口5分) インストラクターが案内
お子さん連れの参加も大歓迎 要申込み
TEL03-3993-4899

稲城ネット

LGBTを知るために〜一人じゃない〜一緒に考えよう〜
8月25日(木) 18:00〜20:00 稲城市立iプラザ大会議室(京王線若葉台駅)
講師:原ミナ汰(NPO法人共生社会をつくるセクシャルマイノリティ支援全国ネットワーク代表) 資料代300円 主催:運動グループ稲城地域協議会 TEL042-379-2435

板橋ネット

連続講座第6回憲法カフェ「今だから!自民党改憲草案〜緊急事態条項を中心に〜」
8月27日(土) 13:30〜16:30 板橋区役所南館1階レストラン(都営三田線板橋区役所前駅) 講師:伊藤朝日太郎弁護士(明日の自由を守る若手弁護士の会) 資料代150円+350円(カフェ代) TEL03-5920-6875

江東ネット

区議・ずし和美と取り組もう!生ごみ減量作戦
8月30日(火) 10:00〜11:30 総合区民センター(都営新宿線西大島駅) 生ごみ減量のための「森のしくみ」「ダンボールコンポスト」など実践を紹介 TEL03-3636-9044

江戸川ネット

「篠崎ビオトープ」生き物・環境調査
9月11日(日) 9:30〜11:30 篠崎ビオトープ(江戸川区北篠崎地先・江戸川河川敷都営新宿線篠崎駅15分) 環境団体「みずとみどりの寺子屋」が、江戸川区と協働して川の環境保全を目的に創ったビオトープで、講師の話を聞きながら生きもの調査
TEL03-5607-5975

生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)**
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に**
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでカンパ(金)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

第24回参議院議員選挙閉幕 大河原まさこさん、議席に届かず! 東京選挙区で小川敏夫さん当選

7月10日、第24回参議院議員選挙が閉幕した。生活者ネットワークは、この選挙を「改憲への道を阻止し、安倍政権の暴走を止める選挙」「民主主義・立憲主義・平和主義を守り抜き、政治のあるべき姿を取り戻す選挙」と位置づけ、生活者ネットワークの国政取り組み方針を共有できる大河原まさこさんを比例代表で、東京選挙区では小川敏夫さんを推薦し全力で選挙に臨んだ。結果、小川敏夫さんの当選(6位50万8131票)を勝ち取り、東京選挙区では改憲勢力3分の2を阻止したが、比例代表選挙に挑戦した大河原まさこさんは議席に届かなかった。



参議院選挙フィナーレ。PARC NPO 法人アジア太平洋資料センター共同代表で市民勝手連の大江正章さん、上智大学教授の中野見一さん、衆議院議員・元首相の菅直人さん、参議院議員の川田龍平さん、法政大学名誉教授の五十嵐敬喜さん、元衆議院議員の石毛えい子さんと生活者ネットメンバー、たくさんの市民応援団がかつつけた。7月9日、世田谷区の経堂駅前

今回は70年ぶりの公選法改正により18歳選挙権が施行、新たに240万人の有権者を迎える選挙となった。メディアの批判精神が影を潜め与党優位が語られる一方で、期日前投票は15%と過去最高をマーク。投票率の向上が期待されたが、54・7%と戦後4番目に低い結果に留まった。

市民が野党共闘をリード 新しい政治が始まっている

今回の選挙で見逃せなものは、野党各党が論戦に挑んだにもかかわらず、安倍総理が「憲法改正」について何一つ語らなかったことだ。結果は、自民党単独過半数には歯止めをかけたものの自公圧勝。改憲勢力は衆参両院とも3分の2を占め、いよいよ安倍総理の悲願「憲法改正」が視野に入ってきた。いずれ、「改憲」が日本最大の争点になっていくことは必至であり、改憲に向ける道筋が開かれてしまったことを、私たちは肝に銘じる必要がある。当面は、駆け付け警護など安保関連法の具体施行やTPP批准に向けての審議など、

これまで先送りしていた問題が強硬に進められていくことも危惧される。しかしながら1人区選挙では、前回29勝2敗を誇った自民党を、今回は21勝11敗に追い込むなど、市民が中心となって「野党共闘」を促し実体化したことは評価に値する新しい動きである。1人区における結果を見れば、自公与党が国民の信を得たものではないことは明らかだ。

4年目に突入した「アベノミクス」は到底成功とは言えず、階級と分断を生み出し所得格差は広がるばかりである。国の借金は1000兆円を超え、先進国の中でも最悪な財政状況にある。安倍首相は「この道を力強く、前へ」と経済政策を前面に訴えたが、政治のあるべき姿は、右傾化する国政に強い危機感をもつ



▶上: 東京選挙区の民進党候補者、小川敏夫さんとともに支持を訴える、大河原まさこさん。7月8日、八王子で
▶下: 大河原まさこ「全国比例区(民進党)にて立候補しましたが、国政に市民の議席を確保することが出来ませんでした。この度の選挙に際しまして、多大なお力添えを賜りました皆様にはいくら感謝しても感謝しきれません。今後とも、ご指導ご鞭撻賜りますよう、お願い申し上げます」。7月13日、飯田橋の選挙事務所での報告会

生活者ネットワークは都内35の自治体にあり、それぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区を超えた東京問題・国政問題には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。